



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 環状道路で高速バスをもっと便利に！  
～圏央道を活用した高速バス乗り換え社会実験を実施します～

関東地方整備局 道路部

高速道路ネットワークの進展を踏まえ、サービスエリア等で高速バスの乗り換え環境を整備することにより、利用者の行き先の選択肢の拡大や時間短縮が図られ、観光振興など地域活性化への効果が期待されます。

こうした高速サービスエリアを活用した乗り換えサービスの普及を促進するため、関越道高坂 SA において、長野と成田空港間の高速バス利用を都心(バスタ新宿)経由から、圏央道経由に乗り換える社会実験を 2 月 21 日(木)から約 1 ヶ月間実施します。

### 実験概要

#### 1.実験期間：

平成 31 年 2 月 21 日(木)から約 1 ヶ月間

#### 2.対象バス路線：

長野⇒新宿便(アルピコ交通・京王電鉄バス)の 7 便

※高坂 SA にて、前橋⇒成田空港便(関越交通・千葉交通)に乗り換え

#### 3.乗り換え環境：

ETC2.0 データを活用したバスロケーションシステムにより、SA 内に設置したデジタル表示板及び専用アプリから、逐次乗り換え便の接近状況を確認できます。

#### 4.期待される効果：

長野駅⇒成田空港間の移動時間について、圏央道経由ルートを利用することで、都心(バスタ新宿)経由と比較し、平均約 30 分程度※の時間短縮を見込んでいます。

※バス事業者が設定する時刻表に基づいた想定


#### 5.ご利用にあたって：

本社会実験の長野～成田空港間(圏央道経由ルート)のバスをご利用される方は以下の

「高速バス乗り換え社会実験特設サイト」により、1 月 21 日(月)からご予約いただけます。

<http://bus-norikae.jp/>

### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1048 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000234.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000234.html)

## 2. 関東地方整備局 ICT 活用工事(河川浚渫工) 第1号適用 ～i-Constructionへの取り組み～

関東地方整備局 企画部  
荒川下流河川事務所

従来の工事から生産性を高め、安全性の飛躍的向上を図る「ICT活用工事(河川浚渫工)」※1(施工者希望II型)※2にて荒川下流河川事務所が発注していた下記工事において協議の結果、関東地方整備局で第1号の「ICT活用工事(河川浚渫工)」として適用が決定しましたのでお知らせ致します。

ICT活用工事とは、工事を行う際の「調査設計」から「施工」、「検査」の全ての段階においてICTを導入する工事です。

### <工事の概要>

工事名：H29 荒川左岸臨海緊急用船着場浚渫工事

工事場所：東京都江戸川区清新町一丁目地先

工期：平成30年11月3日から平成31年3月18日まで

施工者：若築建設(株) 東京支店

浚渫規模：約14,000立方メートル

※1 ICT活用工事(河川浚渫工)では、バックホウ浚渫船による施工を行う工事が対象。

※2 施工者の希望によって「ICT活用工事」を実施。(本文資料(PDF)別紙参照)

i-Construction 関連情報については、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

関東地方整備局ホームページより：TOP ページ上部検索バナー「i-Con.」

(URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000021.html>)

### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [323 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku\\_00000644.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000644.html)

## 3. 東京外かく環状道路(三郷南IC～高谷JCT)開通後の整備効果

関東地方整備局  
東日本高速道路(株)関東支社  
首都高速道路(株)

【C3】外環道経由への交通転換により都心の渋滞が改善

【国道298号】国道298号沿線地区における交通環境が改善

<高速道路の交通状況>

- 埼玉・千葉間（東北道⇄東関東道）の交通は都心を経由していたが、約 8 割の交通が外環道へ転換
- 首都高 JCT の 4 車線化(2 箇所)の効果もあり、中央環状内側の首都高(中央環状含む)の渋滞損失時間が約 3 割減少
- 埼玉と千葉が都心を経由せず繋がり、時間短縮を実現。バス会社では、同じ人数の運転士で 4 往復/日から 6 往復/日に増便できるようになるなど、生産性向上に寄与

<一般道の交通状況>

- 市川・松戸市内の主要な一般道路の交通量が約 1 割減少し、渋滞損失が約 2 割減少
- 市川松戸線の通過時間が最大で約 4 割短縮し、快適な走行が可能に
- 市川市内の生活道路の急ブレーキ回数が約 5 割減少し、安全性が向上

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [4263 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000233.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000233.html)

#### 4. 「宅地利用に供する高規格堤防の整備に関する検討会」とりまとめの公表について

関東地方整備局 河川部

高規格堤防は、地方公共団体等が実施する土地区画整理事業や市街地再開発事業等の土地利用転換といったまちづくりと連携し整備されるため、堤防の安全にかかる機能の向上だけでなく、安全で快適なまちづくりにも資することが期待されます。

高規格堤防の整備を予定している区間には、多くの戸建て住宅等が存在しており、関東地方整備局が宅地利用に供する高規格堤防の整備を進めていくため、平成 30 年 8 月から、これまで 3 回にわたり検討会を開催し、対応方策等について議論を行ってまいりました。

本検討会でとりまとめられた今後の対応方策等を踏まえ、宅地利用に供する高規格堤防の整備を推進してまいります。

■参考

「宅地利用に供する高規格堤防の整備に関する検討会」のとりまとめや、これまでの検討会の資料については、下記 URL でご覧頂けます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river\\_shihon00000366.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river_shihon00000366.html)

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [212 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river\\_00000418.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000418.html)

## 5. 集中的な大雪時にはタイヤチェーンの装着を！ ～「チェーン規制区間」を設定～

関東地方整備局 道路部  
東日本高速道路(株)関東支社  
中日本高速道路(株)八王子支社

国土交通省では、冬期道路交通確保対策検討委員会でとりまとめられた、「大雪時の道路交通確保対策の提言中間とりまとめ」に基づき、「道路ネットワーク機能への影響を最小化」するため、除雪体制の強化や集中除雪、大雪時の需要抑制の呼びかけ等の取り組みを進めているところです。

○このうち、チェーン規制については、

- ・ 時期：大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪時※  
※平成 29 年度は、大雪特別警報の発令はなく、大雪に関する緊急発表は 3 回。
- ・ 場所：急な上り下りがある峠などでこれまでに大規模な立ち往生などが発生した区間を対象として、従来であれば通行止めとなる状況においてタイヤチェーン装着車のみ通行を可能とするものです。  
チェーン規制区間は以下のとおりとなります。

○チェーン規制区間

- ・ 国道 138 号 区間：山梨県南都留郡山中湖村平野～静岡県駿東郡小山町須走字御登口  
延長：8.2 キロメートル
- ・ E18 上信越道 区間：信濃町 IC～新井 PA  
延長：24.5 キロメートル
- ・ E20 中央道 区間：須玉 IC～長坂 IC  
延長：8.7 キロメートル

○大雪が予想される 2～3 日前より通行止め実施の可能性がある旨について事前広報を行い、不要不急の外出を控えることや広域迂回、並びに物流車両の運行計画の見直しなどについて、地域住民や道路利用者に周知してまいります。

○雪道を走る際は、冬用タイヤ装備・タイヤチェーンの携行をお忘れ無く！ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [2933 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000232.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000232.html)

## 6. 地域インフラサポートプラン ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局 企 画 部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、関東地方整備局ホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>) にて紹介しています。

(現在、253話まで掲載中)

是非ご覧いただき、「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. インフラ維持管理・更新に係る中間評価を行いました

～国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)のフォローアップ(中間評価)について～

国土交通省では、インフラ長寿命化計画(行動計画)※1に基づき、計画的な維持管理・更新に取り組んでいます。(計画期間：2014年度～2020年度)

毎年、計画のフォローアップをしています。今年度は計画の中間年にあたることから、2018年3月末時点の計画の中間評価を行いました。

※1 国土交通省が管理・所管するインフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにする計画

#### 【中間評価のポイント】

○国と比較して、地方公共団体が管理する施設の方が、点検の進捗が遅れている分野が多くあります。

○個別施設計画※2は、国が管理する施設は、ほぼ策定が終了していますが、地方公共団体が管理する施設は、分野により進捗にばらつきが見られます。引き続き、2020年度までの策定完了を目指します。

○点検や個別施設計画の策定について、引き続き、地方公共団体への支援に取り組めます。

※2 行動計画に基づき、点検・診断等の結果を踏まえ、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画。個別施設計画を核として、点検・診断、修繕・更新、情報の記録・活用といったメンテナンスサイクルを構築する。

添付資料

[報道発表](#) (PDF形式) 

[「インフラ長寿命化計画\(行動計画\)のフォローアップ\(中間評価\)」](#) (PDF形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08\\_hh\\_000144.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000144.html)

### 2. 建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます

～国土交通省・厚生労働省の平成31年度予算案の概要～

国土交通省及び厚生労働省は、建設業の人材確保・育成に多角的に取り組むため、平成31年度予算案の概要を取りまとめました。

建設業の技能者の約3分の1は55歳以上となっており、他産業と比べて高齢化が進行しています。このような中、建設業が引き続き重要な役割を果たしていくためには、将来の建設業を支える担い手の確保が急務となっております。特に若者や女性の建設業への入

職や定着の促進などに重点を置きつつ、働き方改革を着実に実行し、魅力ある職場環境を整備することにより、人材確保・育成を進めていくことが重要です。

国土交通省と厚生労働省は、引き続き、連携して関係施策を実施し、建設業の人材の確保・育成に一層取り組んでまいります。

「建設業の人材確保・育成に向けて（平成31年度予算案の概要）」のポイント

[1] 「人材確保」

建設業への入職や定着を促すため、建設業の魅力の向上やきめ細かな取組を実施

- ・誰もが安心して働き続けられる環境整備(女性活躍の推進等) 55百万円
- ・建設分野における外国人受入れの円滑化・適正化 224百万円
- ・建設事業主等に対する助成金による支援 59.0億円 等

[2] 「人材育成」

若年技能者等を育成するための環境整備


- ・中小建設事業主等への支援（建設労働者緊急育成支援事業等） 9.4億円 等

[3] 「魅力ある職場づくり」

技能者の処遇を改善し、安心して働けるための環境整備

- ・建設産業の働き方改革の推進 103百万円
- ・時間外労働等改善助成金による支援 62.6億円
- ・働き方改革推進支援センターによる支援 76.3億円 等

添付資料

[記者発表資料](#)（PDF形式） 

[別添：建設業の人材確保・育成に向けて（平成31年予算案の概要）](#)（PDF形式） 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14\\_hh\\_000812.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000812.html)

### 3. 津波防災に頑張る地域を支援

～「支援チーム」を立ち上げ、津波防災地域づくりを部局横断的に支援～

国土交通省では、南海トラフ地震等の発生に備え、様々な津波に対してハード・ソフトを組み合わせた総合的な対策を講じて減災を図る「津波防災地域づくり」を一層推進するため、本日「津波防災地域づくり支援チーム」を立ち上げ、ワンストップで部局横断的に支援します。

近い将来の発生の切迫性が指摘されている南海トラフ地震等の発生に備え、施設計画の前提となる津波や最大クラスの津波を含む様々な規模の津波に対してハード・ソフトを組み合わせた総合的な対策を講じて減災を図る「津波防災地域づくり」を一層推進する必要があります。


国土交通省においては、これまで海岸堤防や避難路・避難施設等のハード整備、ハザードマップの作成や警戒避難体制の構築、また津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画（推進計画）の作成や、警戒避難体制を整備するための「津波災害警戒区域」の指定



等の施策について財政的・技術的支援を実施してきたところですが、今般、「津波防災地域づくり」を推進するため、ワンストップで相談・提案を行う「津波防災地域づくり支援チーム」（事務局：国土交通省海岸室）を立ち上げました。

さらに、取り組みに必要な海岸保全施設や避難施設をはじめとする施設整備等に対応する防災・安全交付金の一部について重点配分等を行い、財政的にも応援します。

添付資料

[報道発表資料](#)（PDF形式）

[別紙](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sabo02\\_hh\\_000066.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sabo02_hh_000066.html)

#### 4. 平成30年度国土交通省関係第2次補正予算の概要について

平成30年度補正予算（第2号）について、概算閣議決定されましたのでお知らせします。

添付資料

[平成30年度国土交通省関係第2次補正予算の概要](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05\\_hh\\_000171.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000171.html)

## ◆◆地域の動き◆◆

### 群馬がはばたくための7つの交通軸構想 ～地域高規格道路 上信自動車道～

群馬県 県土整備部 道路整備課

#### 1. はじめに

群馬県の北西部に位置する吾妻地域は、上信越高原国立公園、ラムサール条約湿地登録簿に記載された「芳ヶ平湿地群」などの豊かな自然や草津・万座・四万温泉などの観光資源に恵まれ、日本遺産「かかあ天下一ぐんま絹物語ー」、「真田街道」など、古くからの伝統や文化、住民の絆が大切に受け継がれており、県内外から多くの人々が訪れる魅力的な地域である。

また、地域の基幹産業である農業は、生産量日本一の「夏秋キャベツ」をはじめ、標高差や気候条件を活かした高冷地野菜などの栽培や酪農、養豚、養鶏などの畜産が盛んで、新鮮な農畜産物の一大産地となっている。

一方で県央部や首都圏から遠い立地条件であることや、浅間山などの活火山への警戒と山間地における大規模な自然災害に対する防災対策、人口減少と高齢化の急速な進行が課題となっている地域である。

この吾妻地域において、誰もが安全で安心できる暮らしづくり、ハッ場ダム完成を踏まえた基盤整備に取り組んでいる。

#### 2. 上信自動車道の概要

群馬県では、高速交通網の効果を県内すべての地域に行き届けさせ、産業の発展や観光振興など地域の活性化を図るため、「7つの交通軸」の整備・強化を推進している。

上信自動車道は、7つの交通軸の「吾妻軸」の主軸として、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保インターチェンジ付近から鳥居峠付近を経由し、長野県側の上信越自動車道へ至る延長約80kmの「地域高規格道路」である。

上信自動車道の建設は、ハッ場ダムの生活再建を軌道に乗せるインフラ整備として重要な役割を担うとともに、高速道路のない吾妻地域の活性化に資するばかりでなく、高度救命救急を県央地域の大規模病院に依存せざるを得ない当地域にとって、まさに住民の命の綱とも言える極めて重要な道路である。

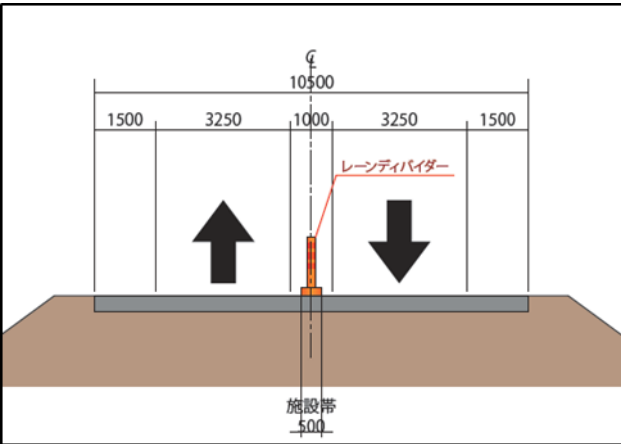
現在は、国直轄事業として渋川西バイパス、県事業として金井、川島、祖母島～箱島、吾妻東、吾妻東2期、吾妻西、ハッ場の7つのバイパスの建設を推進している。

# 上信自動車道 計画路線図

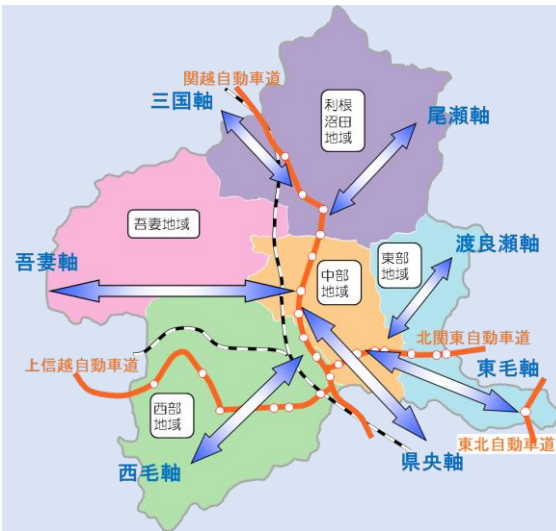


## 上信自動車道の道路構造

構造規格	道路構造令 第3種2級
設計速度	60 km/h
車線数	2車線



## 群馬がはばたくための7つの交通軸構造



### 3. 上信自動車道のストック効果

上信自動車道の整備により以下のストック効果の発現が期待されることから、早期完成に向け事業を推進しているところである。

## 吾妻地域の農産業活性化へ！

～朝採れ新鮮高原キャベツが、その日のうちに首都圏の食卓へ～

### 嬭恋キャベツの即日販売圏が拡大

今までの輸送時間を短縮し、高原キャベツを即日販売する首都圏への5時間圏域を拡大でき農産業の活性化が期待されます。



#### 群馬が誇る嬭恋の高原キャベツ

嬭恋村は「高原キャベツ」の出荷量が  
ダントツの日本一！（H25データ）

1位：群馬県嬭恋村 198,500t  
2位：岩手県岩手町 16,200t

#### 即日販売圏(5時間圏域)とは

販売量販店への搬入時間を14時とし、採り入れから出荷までのタイムスケジュールから逆算し、輸送時間に使える限度を5時間に設定しています。

5時間圏域

新たに増えた5時間圏域



ふんわりおいしい  
朝採れキャベツ

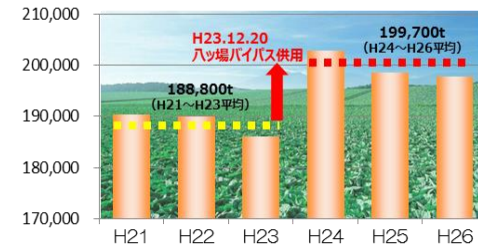
#### 【効果1】

##### ハッ場バイパス開通による効果

平成23年のハッ場バイパスの開通後、「高原キャベツ」の出荷量が

年間平均 約10,900t 増加 (約6%)

(t) (キャベツ：1,000万個分)



#### 【上信道開通による出荷量増加の要因】

- 走行時間短縮による即日販売圏の拡大
- 走行性の向上により車の揺れが少ないので、キャベツの品質向上
- 一般道の雨量規制に左右されることがなくなり、確実な配送が可能に

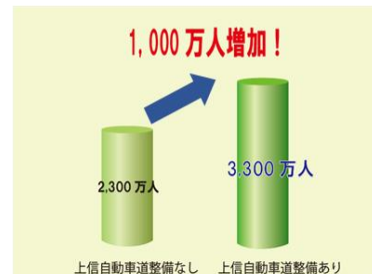
#### 【効果2】

##### 上信自動車道全線開通による効果

嬭恋村から、高原キャベツの首都圏への即日販売圏域が拡大し、カバー人口が

約1,000万人増加！（2,300→3,300万人）

これにより、出荷量が増加し、地場産業のさらなる発展が期待される。



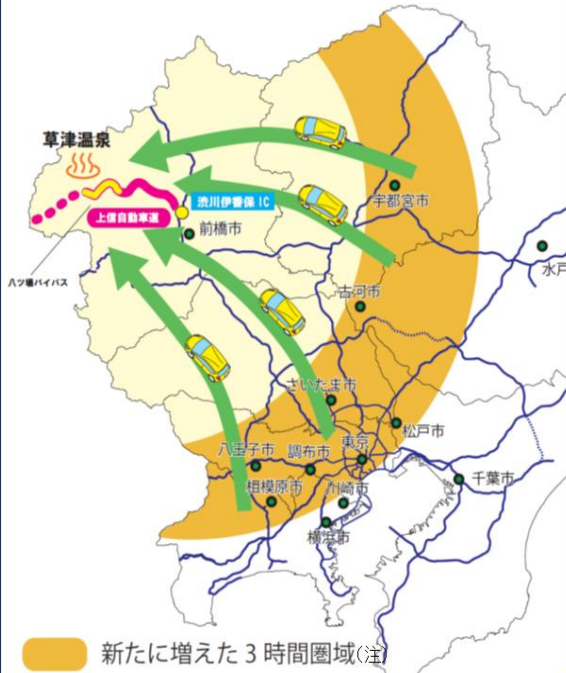
ストック効果

# 草津温泉の観光誘客を後押し！

～東京から高速で3時間、草津温泉がより身近に～

## 草津への移動時間を短縮

上信自動車道の整備により、草津温泉から3時間圏域が拡大し、観光客数及び観光消費額の増加が期待されます。



(注) 午前9時に出発したとして午前中に草津温泉に着くことのできることを前提に3時間としています。

### 3時間圏域の拡大

入込客数と所要時間の相関から、所要時間短縮効果による観光客増加が期待できる3時間圏域を拡げます。



### 群馬が誇る草津温泉

日本一の温泉自然湧出量を誇る。観光経済新聞社主催「にっぽんの温泉100選」において2003年より **14年連続 “第1位”** 観光客リピーター率 **“7割”**



### 【効果1】ハッ場バイパス開通による効果

平成23年のハッ場バイパスの開通後、草津温泉への観光客が着実に増加 (300万人を突破！)



### 【効果2】全線開通による効果

草津温泉等の観光地を有する吾妻地域からの3時間圏域人口が1,000万人から1,400万人増加！



ストック効果

# 吾妻地域の安心な出産を後押し！

～1時間以内に周産期医療へ到着できる範囲が拡大～

## 県立小児医療センターへの時間が短縮

今までの緊急搬送時間を短縮し、周産期医療体制のある県立小児医療センターへ自動車ですぐに到着する範囲が拡大し、周産期医療体制の充実が図られます。



### 吾妻地域の周産期医療の現状

現在、吾妻地域内には周産期母子医療センター等は立地しておらず、西吾妻福祉病院などの産婦人科・小児科を利用するか、地域外の病院を利用しています。渋川市に群馬県の「総合周産期母子医療センター」である、『県立小児医療センター』がありますが、地域東部の一部を除いて、自動車ですぐに到着するのが実情です。

### 周産期医療とは

「周産期」とは、妊娠22週から生後満7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性があります。

周産期を含めた前後の期間における医療は、突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な体制が必要であることから、特に「周産期医療」と表現されています。

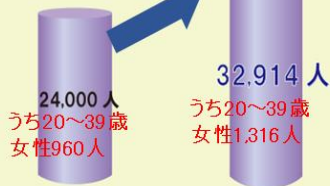


## 【効果】 上信自動車道全線開通による効果

上信自動車道の整備により、県立小児医療センターまでの所要時間が短縮します。県立小児医療センターまで1時間で到着する範囲は、新たに長野原町の中心部などが含まれることになり、60分圏域人口が9,000人増加します。

約9,000人増加（37%増加）

うち20～39歳女性 約360人



上信自動車道整備なし    上信自動車道整備あり



- 従来1時間圏域
- 新たに増えた1時間圏域

ストック効果

#### 4. 工事の進捗状況

渋川市の金井バイパス・川島バイパス、渋川市から東吾妻町を結ぶ祖母島～箱島バイパスの約7km区間については、ハツ場ダムの完成に併せて平成31年度での開通を目指し、現在、工事を推進しているところである。

##### (1) 国道353号金井バイパス(約1km) 【金井 IC 付近】



##### (2) 国道353号川島バイパス(約2km) 【川島・高山IC付近】



(3) 国道353号祖母島～箱島バイパス(約4km) 【岡崎IC付近】



#### 4. おわりに

「上信自動車道」の整備は、高速交通網の空白地帯となっている吾妻郡全域の悲願であり、一日も早い完成が望まれている。

読者の皆様方にも、豊かな自然と豊富な温泉群がある吾妻地域を訪れていただき、上信自動車道の進捗状況を見ていただければ幸いです。